

## 4 届出書記入要領

### (1) ばい煙発生施設設置等届出書

様式第1

#### ばい煙発生施設設置(使用、変更)届出書

該当しないものを二重線で抹消

令和5年3月31日

大分県知事 殿

工場、事業場の所在地ではなく、  
本社・本店の住所を記入する。  
郵便番号、電話番号を忘れず  
に記入すること

届出者

〒870-8501  
大分市大手町3丁目1-1  
株式会社 大分県庁  
代表取締役 大分 太郎  
電話 097-536-3111

押印不要。

該当しないものを二重線で抹消

大気汚染防止法第6条第1項(~~第7条第1項、第8条第1項~~)の規定により、ばい煙発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	(株)大分県庁 第1工場	※ <del>会社名</del>	ばい煙発生施設を設置する 工場名、ビル名、支店名を記入
工場又は事業場の所在地	大分県〇〇市△△ □丁目◇番×号	※受理年月日	年 月 日
ばい煙発生施設の 種類	1. ボイラー 1基	※施設番号	「大気汚染防止法施行令別表 第1に記載されている番号」 「ばい煙発生施設の種類」 「設置しようとする基数」 を記入する。 (例：11. 乾燥炉 2基)
ばい煙発生施設の 構造	別紙1のとおり。	※審査結果	
ばい煙発生施設の 使用の方法	別紙2のとおり。	※備考	
ばい煙の処理の 方法	別紙3のとおり。		

- 備考 1 ばい煙発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

## 工場又は事業場の概要等

資本金	円	従業員数	50人	業種	食料品製造業
生産・営業等の種類、規模等 (主要生産品目、生産量等)	○× 6,000個/日 ×× 3,000袋/日	最新の日本標準産業分類における事業区分(中分類)を記載			
申請の概要	製品製造ラインの追加により、新しくボイラーを1台新設することになったため、設置届を提出するもの。				
	何についての届出であるのか具体的に記載すること。 (例：ボイラーを××台設置する、除じん施設のサイクロンを増設する等) なお、実施制限期間(60日間)の短縮を希望する場合は、その旨を記載すること				
ばい煙発生施設の種類及び数	ボイラー 3基(今回の届出により、1基追加)				
	届出書を提出した時点で、何基のばい煙発生施設が設置されているかを記入 (※ この届出により設置しようとする施設を含む。)				
主たる作業工程	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">工程1</span> →                      <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">工程2</span> →                      <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ボイラー</span> →                      <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">仕上げ</span> </div>				
	工場の場合は、製造工程をフローチャート等で記入し、どの作業工程でばい煙発生施設を使用するかを記入 事業場の場合は、ばい煙発生施設を何のために使用しているか記入(例：暖房用)				
ばい煙処理の方法及びその系統図	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ボイラー</span> →                      <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">サイクロン</span> →                      <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">煙突から大気排出</span> </div>				
連絡先	担当者職氏名	環境保全課 大気保全班 大分 花子			
	TEL	097-506-3114	FAX	097-506-1747	

- 備考 1 「申請の概要」の欄には、申請に至った理由、申請の目的、申請の主要内容等を記載すること。なお、変更届出の場合は、変更内容を併せて記入すること。
- 2 届出前と届出後で、上記の内容が異なるものについては、届出前の内容と今回の届出の内容双方について記載すること。(資本金、従業員数、業種、申請の概要及び連絡先の欄は届出後の内容を記載)
- 3 ばい煙発生施設及びばい煙処理施設の設置場所を明記した図面を添付すること。
- 4 ばい煙発生施設を設置している工場・事業場の設置場所を明記した図面を添付すること。

ばい煙発生施設の構造

<p>※ 変更届出の場合には、変更の内容がわかるように変更の前後を対照させて記入(別紙1~3まで共通)</p>		<p>工場(事業場)内で施設を識別するための通し番号で記載(例:「No. 1」「1号」など)</p>	
工場又は事業場における施設番号	No. 3		
名称及び型式	〇〇炉筒煙管温水ボイラー △型	すでに施設が設置されている場合のみ記入(使用届、変更届等)	
設置年月日			
着手予定年月日	令和5年6月1日	届出に係る施設の設置工事に着手する年月日を記入	
使用開始予定年月日	令和5年7月1日		
規          模	伝熱面積(m <sup>2</sup> )	30.2	<p>燃焼能力の最大値を記入。</p> <p>※ 重油換算方法について一般的には、以下の量を重油 1L に換算する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 固体燃料：1.6kg</li> <li>・ 液体燃料：1L</li> <li>・ ガス燃料：1.6m<sup>3</sup></li> </ul> <p>(昭和46年8月25日付け環境庁大気保全局長通知：ガス機関を除く)</p>
	燃料の燃焼能力(重油換算L/h)	219(L/h)	
	原料の処理能力(t/h)		
	火格子面積又は羽口面断面積(m <sup>2</sup> )		
	変圧器の定格容量(KVA)		
	触媒に付着する炭素の燃焼能力(kg/h)		
	焼却能力(kg/h)		
	乾燥施設の容量(m <sup>3</sup> )		
	電流容量(KA)		
	ポンプの動力(KW)		
合成・漂白・濃縮能力(kg/h)			

- 備考
- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
  - 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
  - 3 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格A4の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

ばい煙発生施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		No. 3		別紙1の番号とそろえること		
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	時～時 時間/回 回/日 日/月		断続的に使用する場合は、1回の時間や1日の回数等を記入		
	季節変動					
原材料 (ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)	種類	A重油				
	使用割合			「重量比」で記入。それ以外の場合は、単位を明記する。		
	原材料中の成分割合(%)	いおう分 かミウム分	鉛分 弗素分			
	1日の使用量			「重量比」で記入。それ以外の場合は、単位を明記する。		
燃料又は電力	種類					
	燃料中の成分割合(%)	灰分 0.03	いおう分 0.30	窒素分 0.01		
	発熱量	10,500kJ/kg		いおう分については、使用燃料の最大値を記入		
	通常の使用量	160L/h				
	混焼割合	専燃				
排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	湿り	最大 2847	通常 2080	高位発熱量(総発熱量)を記入。単位を明確にすること		
	乾き	最大 2617	通常 1917			
排出ガス温度(℃)						
排出ガス中の酸素濃度(%)				「最大」の欄には、定格能力で運転したときの排出ガス量を記入		
ばい煙の濃度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常			
	いおう酸化物 (容量比ppm)	最大	通常			
	カドミウム及びその 物化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常			
	塩素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常			
	塩化水素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常			
	弗素、弗化水素及び 弗化珪素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常			
	鉛及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常			
	窒素酸化物 (容量比ppm)	最大 100	通常 75			
ばい煙量	いおう酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大 0.40	通常 0.29	「ばい煙の濃度」は、乾き排出ガス中の濃度を記入。原則として、酸素濃度換算前の測定値を記入する。測定結果が得られていない場合は、メーカー保証値、設定値等を記入		
参考事項						

- 備考 1 原材料中の成分割合(%)の欄及び燃料中の成分割合(%)の欄の記載にあたっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
- 2 排出ガス量及びばい煙量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態(この項において「標準状態」という。)における量に、ばい煙の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす。
- 3 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 5 参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の

状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載するほか、ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関又はガソリン機関については、常用又は非常用(専ら非常時において用いられるものをいう。)の別を明らかにすること。

処理施設の通し番号を記入

ばい煙処理施設の工場又は事業場における施設番号		No. 1煙突	
処理に係るばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号		No. 1、No. 3	
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式		サイクロン、煙突	
設置年月日			
着手予定年月日		令和5年6月1日	
使用開始予定年月日		令和5年7月1日	
処理能力	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	
		通常	
	排出ガス温度 (°C)	処理前	
		処理後	
	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	処理前	
		処理後	
	いおう酸化物 (容量比ppm)	処理前	
		処理後	
	カドミウム及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前	
		処理後	
	塩素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前	
		処理後	
	塩化水素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前	
		処理後	
	弗素、弗化水素及び弗化珪素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前	
		処理後	
	鉛及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前	
		処理後	
	窒素酸化物 (容量比ppm)	処理前	
		処理後	
ばい煙量	いおう酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	処理前
		最大	処理後
		通常	処理前
		通常	処理後
捕集率 (%)	ばいじん		
	いおう酸化物		
	カドミウム及びその化合物		
	塩素		
	塩化水素		
	弗素、弗化水素及び弗化珪素		
	鉛及びその化合物		
	窒素酸化物		
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等		9時~17時 8時間/回1回/日25日/月
	季節変動		11月中旬~3月
排出口の実高さ H <sub>0</sub> (m)		18.0m 口径0.5φ	
補正された排出口の高さ H <sub>e</sub> (m)		20.0(※1)	
排出速度 (m/s)		6.98	
傘の有無		なし	

処理施設が接続されているばい煙発生施設の施設番号(別紙1参照)を記入

乾式排煙脱硝装置、排ガス再循環(EGRO%)のように記入する。  
処理施設が設置されていない場合は、煙突がばい煙処理施設になる。

処理施設がない場合は、空欄にすること  
処理施設がある場合は、該当する項目に記入すること

「煙突の地上からの高さ」と「内径(形状が円ではないときは、内側の寸法)」を記入すること

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 排出ガス量及びばい煙量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態(この項において「標準状態」という。)における量に、ばい煙の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
- 3 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

- 4 補正された排出口の高さ $H_e$ は、大気汚染防止法施行規則第3条第2項の算式により算定すること。
- 5 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添附すること。

※1

「補正された排出口の高さ」は、次の算式により算定する。

$$H_e = H_o + 0.65(H_m + H_t)$$

$$H_m = \frac{0.795 \times \sqrt{Q \times V}}{1 + 2.58/V}$$

$$H_t = 2.01 \times 10^{-3} \times Q \times (T - 288) \times (2.30 \log J + 1 / J - 1)$$

$$J = \frac{1}{\sqrt{Q \times V}} \times (1,460 - 296 \times \frac{V}{T - 288}) + 1$$

ただし、

$H_e$  : 補正された排出口高さ (単位: メートル)

$H_o$  : 排出高の実高さ (単位: メートル)

$Q$  : 温度15°C (298K)における排出ガス量 (単位: 立方メートル毎秒)

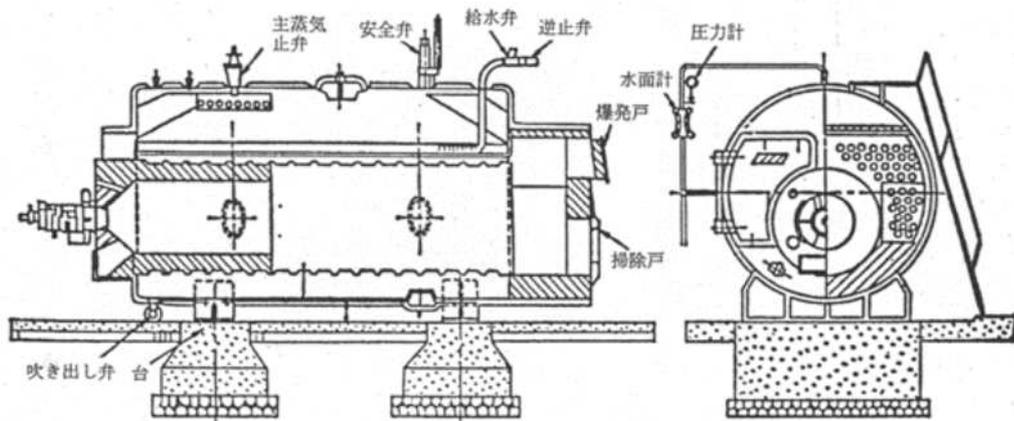
$V$  : 排出ガスの排出速度 (単位: メートル毎秒)

$T$  : 排出ガスの温度 (単位: 絶対温度)

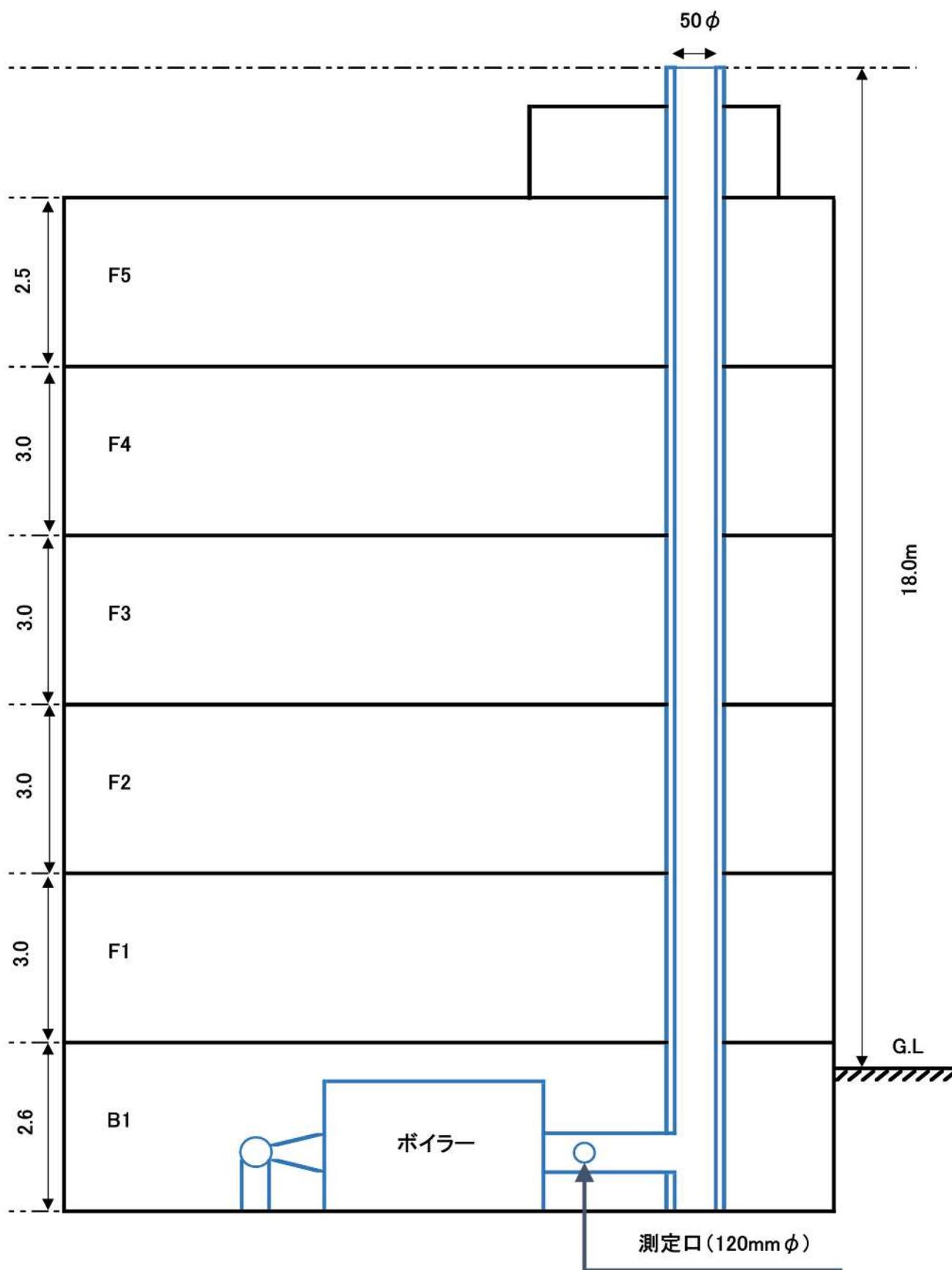
なお、煙突出口に屋根がおかれている(傘がある)場合等では、慣性上昇を0として扱い、計算すること。

## ばい煙発生施設の構造概要図

炉筒煙管ボイラー

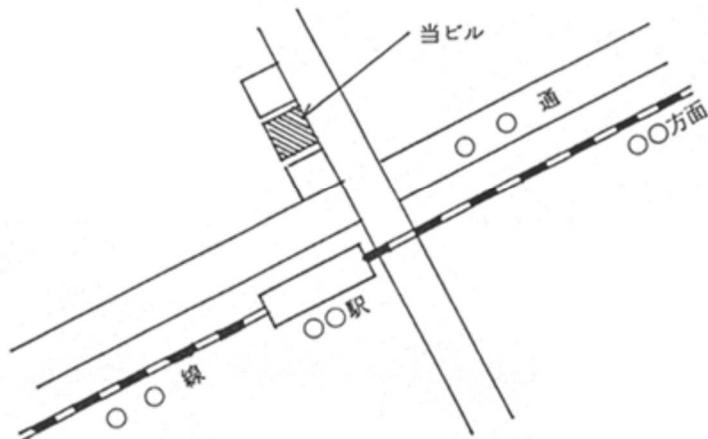


# ばい煙処理施設の構造概要図



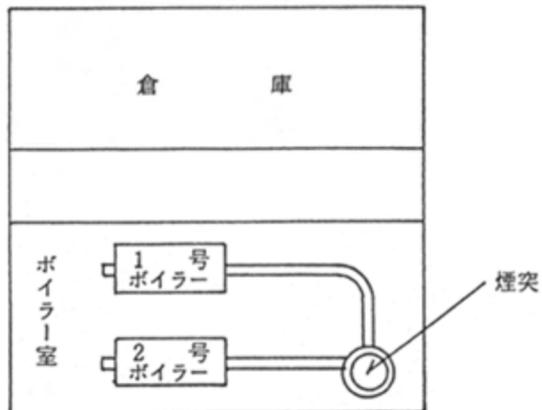
工場又は事業場の付近の見取図

案内図



ばい煙発生施設及び「ばい煙」処理施設の配置図

地下1階平面図



**工場・事業場位置図**

